令和6年度伊那弥生ヶ丘高等学校 第1回学校評議員懇談会 記録

1 日 時 6月4日(火) 15:00~17:05

2 場 所 本校大会議室

3 参加者

(1) 学校評議員：5名出席(2名欠席)

(2) 職 員 ：校長、教頭、事務長、教務主任、進路指導主事、学習指導係主任

生徒指導主事、保健主事、生徒会係主任、PTA係主任、学校職員代表

4 内 容

(1) 授業参観 15:15~15:55 全学年・全教科で公開

(2) 懇談会 16:00~17:05

① 学校長挨拶

② 自己紹介

③ 本校教育活動の概要説明…学校評価、進路指導係、学習指導係、生徒指導係、生徒会係

[質疑応答]

a. 学校評議員：教科間連携の中身はどのようなことか。家庭学習の習慣については、創造館やコメダ珈琲等の場所での家庭外学習時間も少なくないことが予想されるので学校外学習としてはどうか。

年内入試受験者が増える中で面接試験ではテープレコーダーのようにしゃべる例が多い。受験者全員に一律に聞く項目とそこから発展した質問があるが、評価の重点は後者部分のキャッチボールである。事前に調べてきた「～研究室で学びたい」との回答に対し、そこで何を学びたいかという質問で答えが止まる傾向がある。自分の興味関心と研究をつなぐ動機がほしい。

探究では伊那北に行く機会もあるが弥生の方がタブレットを有効活用している。統合にあたり教科以外のすり合わせも必要になるだろう。

b. 学習指導係：複数教科による課題については他教科との釣り合いを調整、整理したい。

c. 学校評議員：探究では「マイチャレンジ」と呼んで大学の先生や高校生などから助言をいただいている。長期休業では教科の宿題をやめて取り組んでいる。

問いに対する探究の仕方を3年生が1年生に教える場面もある。たまに
来校する伊那北生には探究のことや高校の部活動の話などのインタ
ビュー動画を作成して昼の放送で流している。一方、弥生生が来てくれ
る機会がない。高校生になって中学時の探究がどう活かされているか聞
いてみたい。昨年度卒業生は弥生に最も多く進学しているので、本校卒
業生をハブに高校生から刺激をもらいたい。

- d. 学校評議員：高校進学後は中学に行くことに遠慮があるかもしれないので、来てくれ
と云えば来るかもしれない。
- e. 学校評議員：高校生には母校でなくても来てくれるとありがたい。
- f. 学校評議員：卒業生以外は行ってはいけないと思っていた。
- g. 学校評議員：昨年度の探究の日「マインクエスト」には14高校から講師が集まり中学
生の学びが深まった。クラスマッチや校外模試のため弥生の都合が合わ
なかったが、弥生生には卒業生ということだけではなく近所の学校だけ
から来てほしい。
- h. 学校評議員：個人探究発表会では10人程の発表があったが本当に面白い。中学生が参
加するのもよい。
伊那市駅から弥生に来たが行き会った弥生生の交通マナーは不快ではな
い。自転車の交通違反取締強化については、講習会ではなくゲーム形式
でイベント的に罰金稼ぎをするようなものにすると分かりやすいのでは。
- i. 学校評議員：サンダル紛失について、自宅近くのお寺で沢山の履物が発見されたこ
とがあり獣の仕業であることも考えられる。
- j. 学校評議員：学校評価表の中・長期目標に関わって、困難に立ち向かう力を養うこと
が大事だと思う。真面目な生徒は精神的にやられてしまう傾向がある。
進路などで壁にぶつかった時などに備え、たくましい力が必要。
- k. 学校評議員：昨年度の弥生祭では楽しくやっていた。一般公開に親や家族が見に行っ
てもいいということを生徒からも家庭に伝えてほしい。

④ 諸連絡

⑤ 閉会